

# 「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日 時：平成28年6月9日（木）

9:40～10:25（3校時）

10:45～11:30（4校時）

場 所：出雲市立荒木小学校体育館

対象者：同校6年1組・2組計70名

指導者：○6年部教職員

○島根県立古代出雲歴史博物館

松尾充晶・吉永壮志

## 1. 主題（主題名）

「奈良の大仏」の巨大さと、ふるさとの歴史

## 2. ねらい

- ・「奈良の大仏」について体験的、専門的に学び、巨大さとともに、古代の技術、込められた先人の思いについても触れる。
- ・遺跡からの出土品を通じて、島根の歴史・文化に対する興味・関心を高める。

学習活動	指導者の支援及び留意点
9:40～9:50／10:45～10:55（10分） ①はじめに～島根の歴史・文化の魅力～	・県内から出土した、実物の奈良時代の土器を見せて古代の暮らし、技術をイメージする。
9:50～10:10／10:55～11:15（20分） ②「奈良の大仏」について、その巨大さを体験活動により学ぶ。 ※1m四方の部品パネルをパズル形式で組み立てていき、高さ18mの大仏を完成させる。	・「奈良の大仏」の実物大パネルを活用。
10:10～10:25／11:15～11:30（15分） ③「奈良の大仏」について、造られた背景と、大仏の特徴について学ぶ。	・造立の背景、技術について説明する。 ・一方的な説明に終始せず、子どもたちが「気づき」「わかる」よう、質疑応答の対話形式で進行する。 ・理解しやすい写真パネルを多用する。

## 3. 展開

## 4. 準備物等

- ・〔体験用具〕「奈良の大仏」の実物大パネル
- ・〔説明用具〕写真パネル
- ・〔土器展示台〕ステージまたは長机

## 5. その他

- ・準備のため、2校時から体育館を使用させていただけると幸いです。